

# 1 市民がともに活用できる森づくり



## 背景

ライフスタイルの変化により、多くの市民にとって普段の生活での森林との関わりは少なくなっています。2050年カーボンニュートラルの達成やSDGsの観点から、近年、森林の多面的機能や木づかいへの関心も高まっているところです。森林の多面的機能を向上するような森林の活用を推進するには、市民・地域の主体的な取組や木材利用だけにとどまらない活用により、山の価値が見直されていく必要があります。

本市は、都市と自然の近接性や交通面での利便性、大学や企業の集積などの豊富な知的資源など、新たなアイデアを活かしながら、森林の活用をさらに推進していくことが可能な環境にあります。また、継続的な森林整備のためには、林業事業者などによる林業経営や公的管理の推進・継続に加え、市民・地域の手による、自主的な取組が行われることが必要です。

## 現状と課題

山や森林への森林所有者の関心が薄れていることに加え、手入れ不足による獣害や竹林の繁茂による森林整備の要請が増える一方で、森林空間を活用した観光・教育などの新たな取組が広がっています。

木材利用に留まらず、健康、観光、教育など、多様な分野での森林の空間利用も含む活用は、関わりの間口を広げ、市民・地域の関心を山に向かわせるとともに、関係人口の増加にも繋がります。また、森林、地域に対する誇りや、守り、継承する意識に影響していきます。

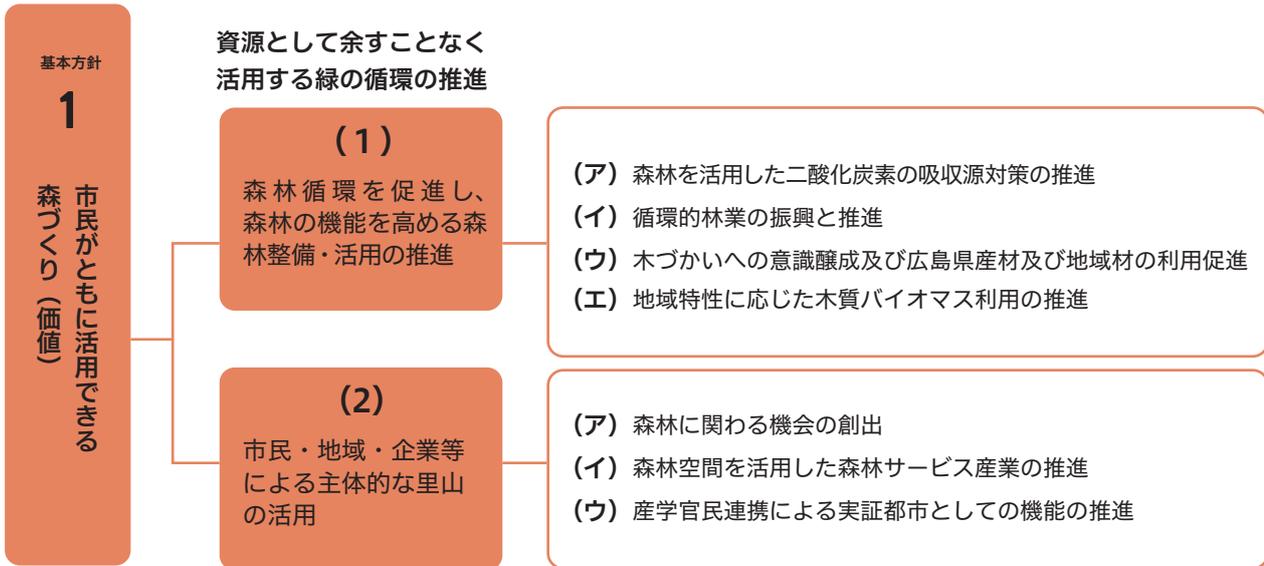
個々は小さくとも持続的な活用の推進が森林資源全体の循環に繋がることから、本市では、活用を「多面的機能が損なわれないような持続的な活用であること」を前提に推進します。

### 理想の姿

市民が森林に関心を持ちつつ、主体的な森づくりや  
新たな発想に基づく森林の活用がされている

### 基本施策

資源として余すことなく活用する緑の循環の推進



## 具体的施策

### 1 森林循環を促進し、森林の機能を高める森林整備・活用の推進

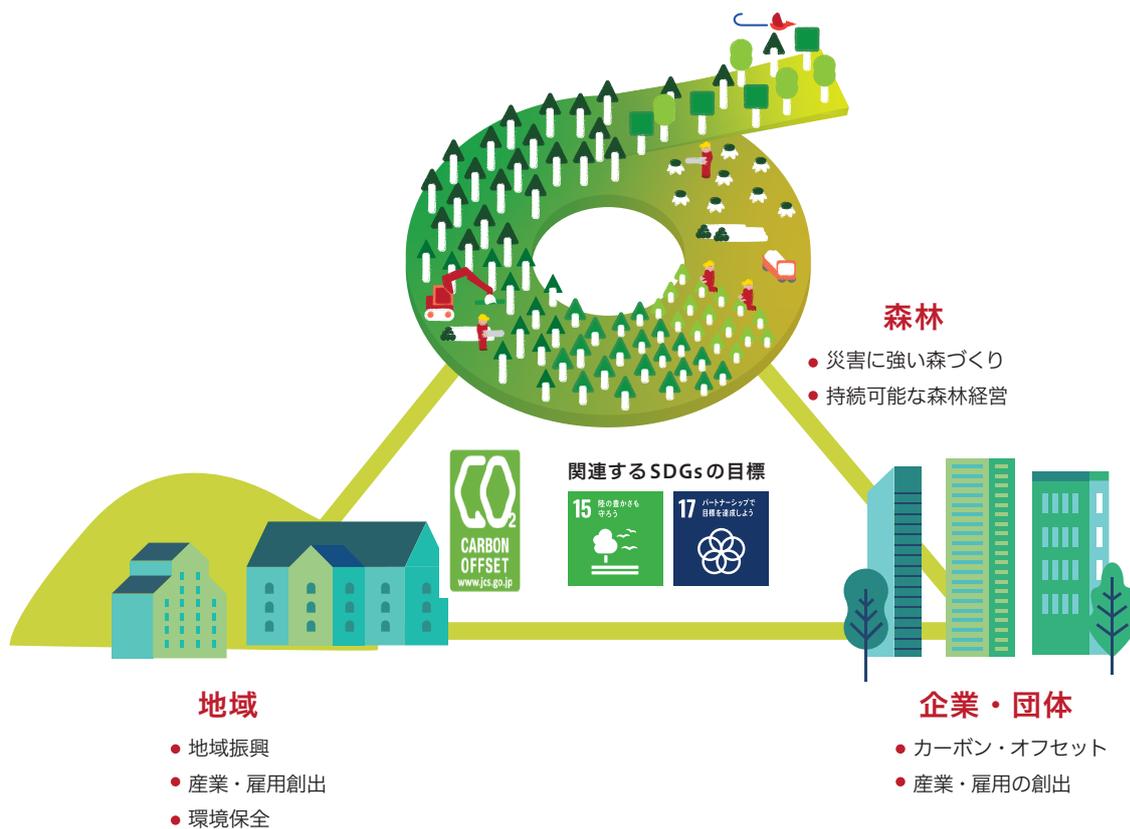
#### (ア) 森林を活用した二酸化炭素の吸収源対策の推進

森林は、二酸化炭素を吸収、固定するとともに、木材として利用することで、炭素を長期間貯蔵することができます。森林の二酸化炭素吸収機能は高齢化に伴い弱まると言われており、森林を健全に保つための適切な間伐による森林の成長促進や主伐再造林を通じた森林の若返りが必要です。

吸収源として認められる森林は、主に「経営管理」した森林であることから、林業経営適地での循環的林業を推進するとともに、森林管理によるJ-クレジットの創出・活用によって、市内企業などに対し、森林管理に間接的に関与していただくとともに、市の取組姿勢の情報発信を行います。

#### 具体的取組

- 林業経営適地での森林経営の推進と人工林の適切な管理の促進
- 市有林整備でのJ-クレジット創出による適切な森林管理の促進



### (イ) 循環的林業の振興と推進

木材生産エリアのうち、循環的に木材生産を継続するエリアである「生産林」における効率的林業を推進します。生産林のエリアにおいて森林経営計画の策定を推進するとともに、施業規模に応じた、林業機械の使用や、ICT技術の活用、他の事業者とも連携した効率的な施業を推進します。

#### 具体的取組

- 林業経営適地での森林経営の推進と人工林の適切な管理の促進（再掲）
- リモートセンシング技術の活用などスマート林業の推進
- ひろしまの森づくり事業などによる主体的な森林の整備と活用の推進

#### 例) 造林事業による保育間伐 (福富町下竹仁)



実施前



実施後



資料：林野庁「平成26年度森林林業白書」

### (ウ) 木づかいへの意識醸成及び広島県産材・地域材の利用促進

「木づかい」とは身近な生活に木製品を取り入れることですが、木づかいにより、人の身体面・生理面にも良い影響を与えることが分かっています。地産地消の効果により林業・木材産業を活性化することは、森林所有者の森林経営意欲を高め、伐採・植林・保育など適切な森林整備を促します。

現在、東広島市には木材として活用可能な人工林は多くありませんが、将来迎える利用期を見据え、木材利用や、近隣市町を含む林業・木材産業が活発である必要があります。

本市では「東広島市公共建築物等木材利用促進方針」などに基づき、公共建築物などへの木材利用について、県産材の利用を促進するほか、広葉樹なども含む地域材の活用を推進します。

### 具体的取組

- 公共建築物などへの広島県産材の利用促進
- 地域材の利活用促進



広島県産材を活用した民間施設  
(認定こども園さざなみの森)



広葉樹をつかったおもちゃ(賀茂地方森林組合)

## (エ)地域特性に応じた木質バイオマス利用の推進

木質バイオマスの活用は、東広島市地域新エネルギービジョン（平成22年）より「環境」をキーワードとして検討してきており、バイオマス産業都市構想を策定し（平成29年）、事業化に取り組んでいます。

今後も、本市の地域特性を踏まえ、森林の多面的機能の発揮に寄与する持続可能な取組を引き続き推進します。市民・地域主体の森林整備を促進し、地産地消による小さな循環の推進に取り組むとともに、民間主導の利活用については、本市の地域資源を活かした森林保全・林業振興につながるものについて、必要に応じ連携・協力することにより、森林整備活動で発生する木質資源の有効活用と環境にやさしい低炭素型循環社会の実現を目指します。

バイオマス産業都市構想における事業化プロジェクトについては、東広島市環境先進都市ビジョン第二期行動計画における「S-TOWNプロジェクト」として引き続き推進していきます。

### S-TOWNプロジェクトの概要

S-TOWN プロジェクト	
<b>S Smart</b> スマートタウン形成モデルプロジェクト	家庭やコミュニティ、事業所等に再生可能エネルギーの導入やエネルギーマネジメントを浸透させ、環境、教育、福祉等の幅広い分野のスマートシティ化を図る。また、近年激甚化する災害に対応するよう地域のレジリエンス強化を図る。
<b>T Technology</b> 技術の地産地消連携プラットフォーム構築プロジェクト	市内の産学官民が有するポテンシャルを他のプロジェクトの実現に活かすための連携支援組織を立ち上げ、プロジェクトの体制整備や技術連携、人材活用を支援し、各プロジェクトのアウトプットを環境教育や地域活動にフィードバックする体制を整える。
<b>O Organic</b> 有機性廃棄物エネルギー創出プロジェクト	再生可能エネルギーの活用や環境に優しい農林水産産業の連携を加速させることを目的に、ごみの減量化・資源化を推進し、廃棄物からのエネルギー抽出や、たい肥化等の有効利用する仕組みを確立する。
<b>W Wood</b> 木質バイオマス活用促進プロジェクト	森林保全や里山再生、新たな雇用の創出等の地域課題解決を目指し、木質バイオマスを地域で有効活用する仕組みを確立する。
<b>N Next generation</b> 次世代エネルギー普及加速プロジェクト	再生可能エネルギーの普及促進と並行して、次世代エネルギーである水素利用、ブロックチェーン技術などの活用等に先進的に取り組み、エネルギーや環境問題全般への市民意識の醸成を図る。

資料：東広島市「東広島市環境先進都市ビジョン第二期行動計画」より作成

### 具体的取組

- 薪・ペレットストーブの活用やマテリアル利用の促進を通じた地域材の有効活用
- 市民・地域主体の小さな循環により森林保全につながる木質バイオマスの利活用の推進
- 地域資源の総合活用の観点から取り組む未利用木質資源の有効活用の推進



薪ストーブ



ベーカリーで使用している薪



賀茂バイオマスセンター

## 具体的施策

### 2 市民・地域・企業などによる主体的な里山の活用の推進

#### (ア) 森林に関わる機会の創出

山や木を身近なものとして理解し、森林保全活動への参加や地域資源の利用促進につなげるために、森林に関わるきっかけづくりとなる取組を推進します。

市内では産学官民で山と水の保全を行う取組や地域と企業が連携した森林整備が行われている事例があります。また、教育面では、いくつかの小学校において、地域団体との連携により、総合的な学習の時間を活用した森林環境教育などが行われています。

本市では、森林に入るきっかけづくりとなる活動を実施する団体に対する助成や、研修の実施の支援などを行うとともに、企業がCSR活動として行う森林づくりの取組を推進します。

#### 具体的取組

- 地域・団体による取組の活動支援の実施
- 森林環境教育及び木育の推進
- 企業の森による市民・地域・企業と連携した森林活用の促進
- 里山資源マイスター養成講座の実施



産学官民で森林整備を行う山のグラウンドワーク  
(西条・山と水の環境機構)



河内小学校の総合的な学習の時間と連携しての竹林整備・活用  
(大道山竹炭工房)



八本松町吉川地区における「セブンの森」活動  
(セブン-イレブン振興財団)

## (イ) 森林空間を活用した森林サービス産業の推進

森林サービス産業とは、山村の活性化に向けた「関係人口」の創出・拡大のため、森林空間を健康、観光、教育などの多様な分野で活用する新たなサービス産業です。人工林が少ない本市においても、木材生産以外の多様な手段と機会により雇用と収入機会の確保と地域ブランド力の向上に寄与することができます。

本市では、都市と森林との近接性を活かし、環境教育の場、アウトドアスポーツなどのレクリエーションの場、森林浴などの保健・休養の場など、市民・地域・企業などが森林を空間として利用する取組を推進します。

### 具体的取組

- 市民・地域の活動団体及び地元企業並びに観光DMOと連携した森林空間利用の促進



資料：(公社) 国土緑化推進機構(株) さとゆめ「森林サービス産業パンフレット」より作成



森林空間を活用したイベント  
(脱温暖化キャラバン in 豊栄)



森林空間を活用した自然保育  
(生活の家おうちえん)



森林を含む自然空間を活用した  
レクリエーション  
(森林ボランティア団体もりゆう)

## (ウ)産学官民連携による実証都市としての機能の推進

本市には「広島大学」「近畿大学」「広島国際大学」「エリザベト音楽大学」の4つの大学が所在しているほか、研究機関が集積した広島中央サイエンスパーク、製造業を中心とした多くの企業が所在しています。本市の特徴である知の集積や交通ネットワークなどを活かし、森林資源の活用につながる共同研究や実証試験などにより森林・林業分野における効率化やイノベーションによる新たな価値の創造を推進します。

### 具体的取組

- 大学や研究機関などとの共同研究などの推進
- 産学官民連携による新しい森林活用の推進

例1) 地域資源（ネズミサシ）を活用したクラフトジンの商品化

株式会社サクラオブルワリーアンドディスティラリー、田口生産森林組合、賀茂地方森林組合、有限会社一場木工所、広島県立総合技術研究所 林業技術センター



ネズミサシの球果

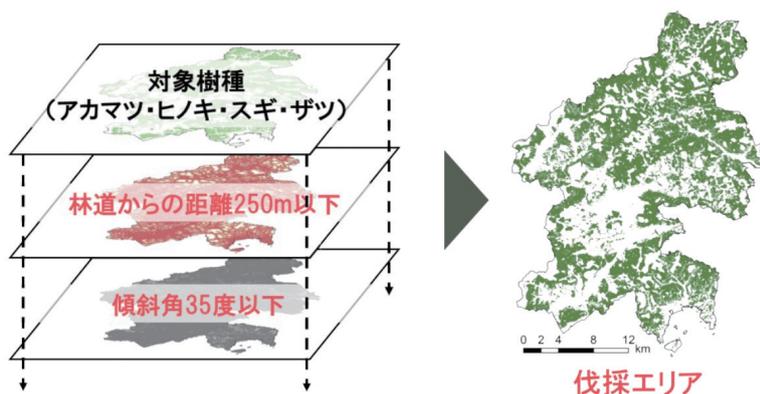


ネズミサシの森  
(田口生産森林組合)



ネズミサシを香料として活用した  
クラフトジン

例2) 大学との共同研究により森林利活用ポテンシャルを検討した事例



資料：令和3年度大学連携政策課題共同研究  
「GISを活用した木質バイオマス資源量の把握及び利用計画の策定」

## 2 市民がともに取り組む安心安全な森づくり



### 背景

平成30年7月豪雨での甚大な山地災害は記憶にも新しく、防災・災害目線での森林整備に関する意見は協議会などでも多くあげられました。

また、市民アンケートにおいても「森林にとって重要だと思ふ機能・役割」として「山崩れや洪水などの災害を軽減する」が一番多く挙げられるという結果になりました。

花崗岩類が多く、地質的に弱い本市において、森林整備により、全ての災害を防ぐことができるものではありませんが、適切な整備により森林の防災機能の強化を図っていくことは必要です。

また、より災害に強い森づくりを効果的に行うには、森林整備方針や方法を明確にするとともに、防災上特に重要な林分については、優先的に整備することが必要です。

### 現状と課題

防災・災害に関する市民の関心が高まっている一方で、防災・災害目線での整備方針が固まっておらず、現状として整備されていない危険な森林など、防災力を高めるための森林整備ができていません。

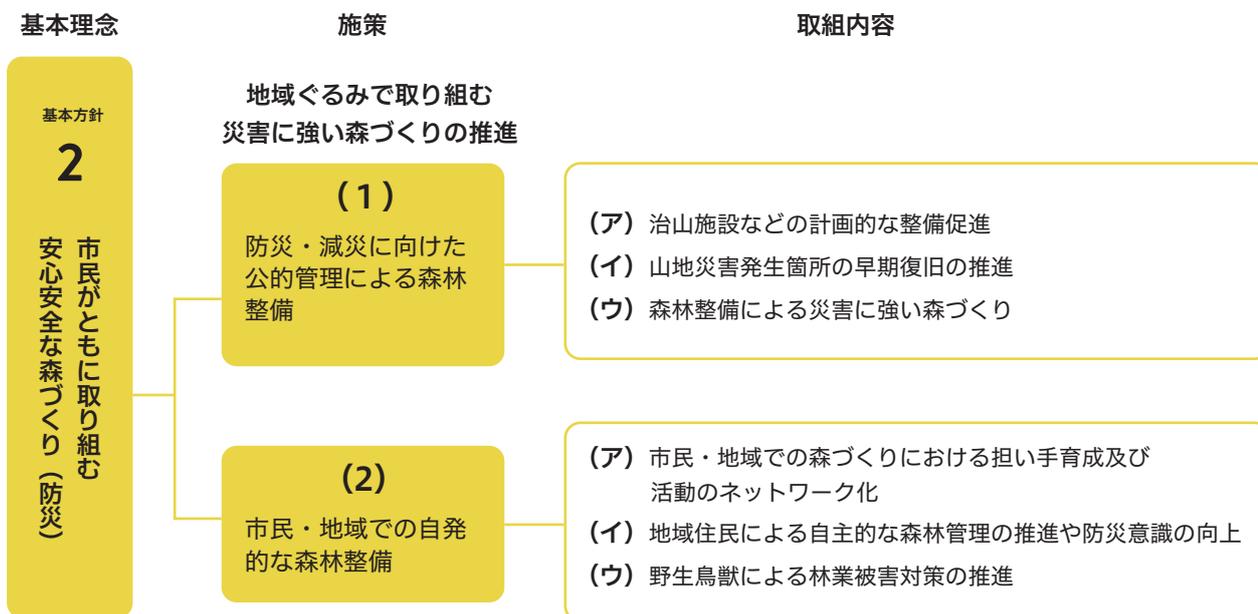
安心安全な森づくりを行い、災害時の被災のリスクを減らすためには、公的管理による防災・減災に向けた森林整備を行うとともに、平時との変化に気づくための日頃の見回りなどを含む自発的な取組を推進します。

#### 理想の姿

より災害に強い森づくりを目指した継続的な森林整備が実施されている

#### 基本施策

地域ぐるみで取り組む災害に強い森づくりの推進



## 具体的施策

### 1 防災・減災に向けた公的管理による森林整備

#### (ア) 治山施設などの計画的な整備促進

激甚化する災害に備え、崩壊危険箇所の把握や国・県が施行する治山施設の工事・点検や不具合箇所の修繕の要望を行い、総合的な山地災害対策に繋げていきます。特に人家などの保全対象への影響が大きく、緊急性の高い箇所について、治山施設の適切な整備に向けて県や地域との連携を図ります。

#### 具体的取組

治山事業の計画的推進

#### 治山事業の概要



資料：林野庁「治山事業の概要」

#### (イ) 山地災害発生箇所の早期復旧の推進

山地災害で被災した箇所について、国・県との連携の下、早期復旧・予防対策に取り組みます。

平成30年7月豪雨では、2,700箇所を超える山腹崩壊が確認されており、そのうち、人家に大きな影響を及ぼす恐れが高い箇所について、国・県と連携した治山事業及び小規模崩壊地復旧事業などを推進します。

#### 具体的取組

治山事業や小規模崩壊地復旧事業などによる整備の推進

## 例)平成30年度7月豪雨での災害関連緊急治山事業(西条町吉行)



実施前



実施後

### (ウ)森林整備による災害に強い森づくり

森林荒廃により、公益的機能の発揮が阻害されている、またその恐れがある森林に対し、森林環境譲与税を財源とした公的森林整備などを行います。

森林経営管理制度により、森林管理が適切に行われていないスギ・ヒノキ人工林に対し、現況調査及び意向調査を行い、経営に適した森林は森林組合を始め意欲と能力のある林業事業体に経営を委託します。林業経営には向いていませんが、防災上の理由などで整備が必要な森林は市が直接森林整備を行います。また、人工林以外の防災観点で整備が必要な森林についても必要に応じ、整備を行います。

#### 具体的取組

人工林の健全化及び森林機能強化のための森林整備の促進



施工前



施工後

## 2 市民・地域での自発的な森林整備

### (ア)市民・地域での森づくりにおける担い手育成及び活動のネットワーク化

研修・イベントの実施により市民の森林への関心を醸成するとともに、知識・技能の習得を促します。また、地域・団体が繋がる場を設け、ネットワーク化を促すことで、課題の共有と学びあいを促し、組織の継続性確保を目指します。

#### 具体的取組

学びあいの場の提供による技術習得及びつながりの確保

## (イ) 地域住民による自主的な森林管理の推進や防災意識の向上

山地災害の被害を抑えるには、地域ぐるみでの自主的な取組が効果的です。地域の森林の状態を普段から把握しておくことで、災害の危険性を事前に察知でき、被害を最小限に抑えることにもつながります。市は市民、地域などで自主的に取り組む森林整備に対し、必要な器具の購入や活動に対する助成などを行い、主体的な活動を支援します。



地域の里山整備の様子  
(ひろしまの森づくり事業での竹林整備と見回り道整備の例)



女性向け林業研修の様子

### 具体的取組

地域・団体による取組の活動支援の実施（再掲）

## (ウ) 森林における野生鳥獣被害対策の推進

県が策定する「第二種特定鳥獣管理計画」及び市が策定する「東広島市鳥獣被害防止計画」に基づき、農林業への被害防止を図ります。更新地や新植地の植栽木について、ネットやシェルターなどの設置により樹木の保護を推進するほか、国有林における鳥獣被害対策事業と連携した捕獲の推進を検討します。

また、野生動物による農作物被害や人への精神的・身体的被害が生じている地域において、人と野生動物とを隔てる緩衝地帯（バッファゾーン）整備と維持管理を促進します。

### 具体的取組

- 植栽木の保護措置及び捕獲による林業被害対策の推進
- バッファゾーンの整備による鳥獣被害への防除対策の推進



ヒノキ植栽地における単木シェルターによる保護（黒瀬町森林組合）



ひろしまの森づくり事業を活用したバッファゾーン整備（賀茂地方森林組合）



## 背景

森林の整備による効果が多面的機能として発揮されるには50年～100年以上にわたる長い年月が必要です。森林を次世代に継承していくためには、継続的な森林の整備と保全の推進を行う必要があります。森林整備の継続には、森林資源や所有者の情報整備や路網など、ソフト・ハード両面での基盤整備が必要です。

## 現状と課題

森林の情報が継承されておらず、山の状況が把握できない森林があります。山林の場所や森林資源情報と合わせ、林地台帳による森林所有者の情報の整備など、森林情報の一元管理を進めることが必要です。

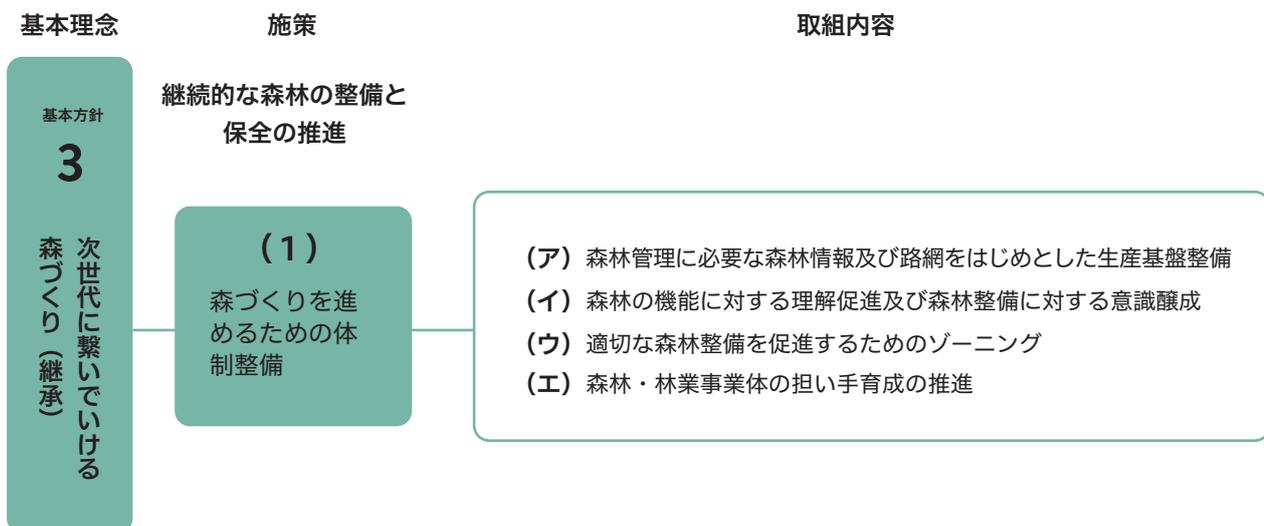
また、相続に伴う所有権の移転登記がなされない事例も多く発生していますが、森林整備には、森林所有者の同意が必須であることから、森林に対する意識醸成を図ることも必要です。

### 理想の姿

明確化された所有者情報が次代に引き継がれ、  
森林整備をするための基盤整備がなされている

### 基本施策

森林の整備と保全の推進



# 具体的施策

## 1 森づくりを進めるための体制整備

### (ア) 森林管理に必要な森林情報及び路網をはじめとした生産基盤整備

森林の整備を継続的に行うには、ソフト面では必要な情報の整備と適切な運用が不可欠です。県・関係機関などと連携し、森林資源情報や所有者情報などを精緻化・高度化することにより、森林の計画的な整備・保全を推進します。

ハード面では、効率的な木材生産と主伐後の確実な再造林など、循環的林业を進めるため、将来的な管理の必要性を踏まえ、森林整備や木材生産を進める上で必要な作業道などの路網整備を支援します。

### 具体的取組

- 森林整備を実施するための情報整備及び精緻化・高度化の推進
- 林道の適切な整備及び維持修繕
- 林内道路整備事業による作業道などの整備・改良など

### 林地台帳の記載項目

所在	地番	地目	面積(ha)	林小班	登記簿上の所有者			現に所有している者、所有者とみなされる者				境界にかかる測量の実施状況		森林経営計画の認定状況		公益的機能別施業森林など		保安林	
					氏名・名称	住所	共有	登記年月日	氏名・名称	住所	共有	記載自由	届出年月日・記載年月日	地籍調査	境界の確定に資する測量	認定の有無	認定者の種類	認定年月	区分

### 例) 林内道路整備事業による作業道の復旧(安芸津町三津)



実施前



実施後

## (イ) 森林の機能に対する理解促進及び森林整備に対する意識醸成

森林整備を進めるためには、森林の働きや必要性が認識されている必要があります。適切な森林整備は山地災害防止機能を高め、より災害に強い森林づくりに繋がります。また、高齢の森林は伐採、植林などの整備により若返らせることにより、森林の二酸化炭素吸収能力を高めることができるなど、森林の多面的機能の発揮に貢献します。また、自発的な森林整備を進めるには、キーパーソンとなる担い手が地域の中で途切れずに存在していることが必要です。

市民に対し、森林の多面的機能やを守り育てることの必要性を伝えるとともに、取組事例を広報することで、施策の理解浸透を図るとともに地域単位などでの自主的な森林整備を促進します。また、幼少期から森林や木に親しむ機会を持ち、人々の生活や環境・森林の関係について理解と関心を深めるために、森林環境教育を推進し、将来的な担い手を育成します。

### 具体的取組

- 市の広報誌・ホームページなどを活用した本計画をはじめとした市の取組などの周知
- 里山資源マイスター養成講座の実施（再掲）
- 森林環境教育の推進（再掲）

## 里山資源マイスター養成講座の様子



座学



フィールドワーク



ワークショップ

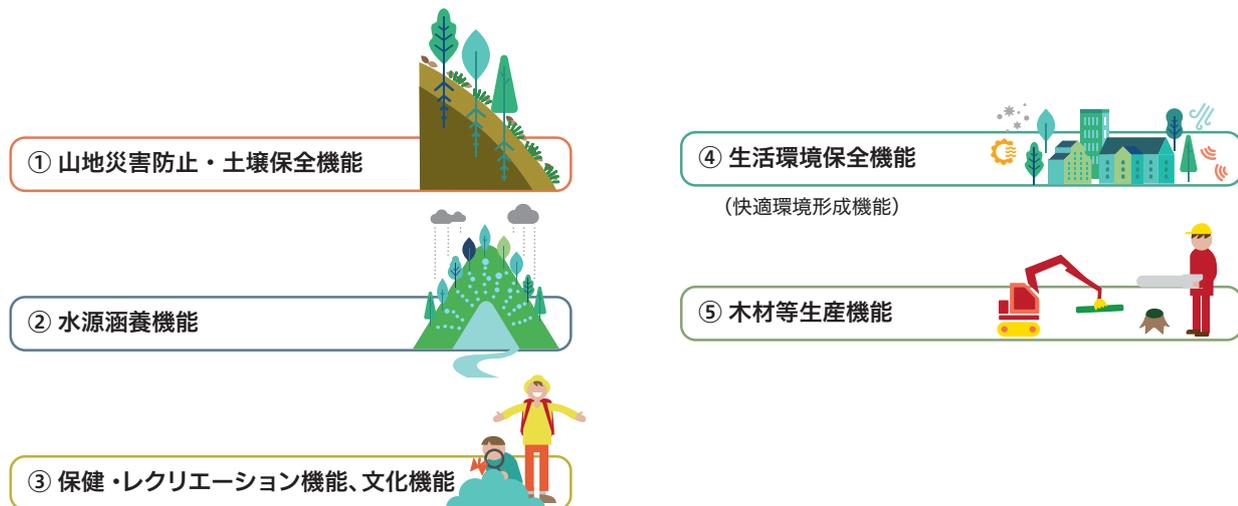
## (ウ) 適切な森林整備を促進するためのゾーニング

森林の多面的機能を発揮するためには、地形などの自然条件や路網などの生産基盤を考慮した森林管理を行う必要があります。本市の特性を踏まえたゾーニングを行い、ゾーニングに応じた施業方針に従った森林整備を促進します。また、ゾーニングは法定計画である東広島市森林整備計画において具体的に行います。

### 具体的取組

森林の多面的機能のゾーニングによる地域特性に合わせた森林整備の促進

## 森林整備計画における森林の多面的機能のゾーニング



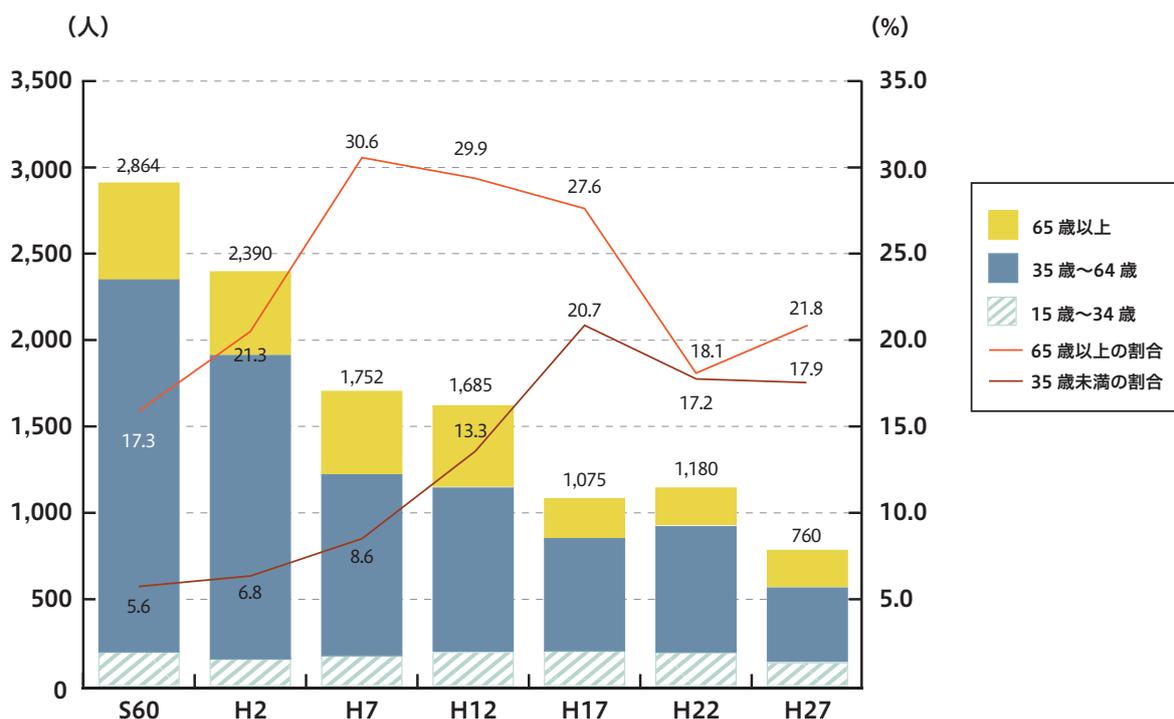
### (エ) 森林・林業事業体の担い手育成の推進

関係機関と連携し、林業事業体などにおいて専業で携わる担い手のほか、半林半X、ボランティアなど、多様な担い手の育成を推進します。また、森林の機能や整備の重要性について、幼少期から体験をもって伝えていくことは将来的な担い手確保につながることから、「木育」をはじめとした森林環境教育を推進します。

#### 具体的取組

- 広島県や森林組合が実施する林業従事者の確保・育成事業の推進
- 森林環境教育の推進（再掲）

## 県内の林業従事者数の推移



資料：広島県「林業労働力の確保の促進に関する基本計画」

